

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス事業所プリエト文字			
○保護者評価実施期間	R7年 12月 23日		～	R8年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○従業者評価実施期間	R7年 12月 23日		～	R8年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・障がいの特性に応じて子供に分かりやすく、構造化された生活環境となっている。	・障がい特性に応じて、視覚的支援を行ったり、感覚の過敏性に配慮した空間を工夫している。 ・身体的な障がいがある利用者様にに応じて、活動室や廊下に手すりを設置したり、玄関やトイレはバリアフリー化されている。	・さらに快適に過ごせるように、それぞれの障がいの特性や年齢、性別、発達に応じた環境面の整備を図っていきたい。
2	・スタッフでカンファレンスを開催し、個々の子どもや保護者のニーズや課題を分析し、それをもとに保護者とのモニタリングを実施し、個別支援計画に反映している。	・日々の業務終わりに、振り返りを行い、個々の課題に対しての評価を行っている。	・モニタリング以外でも、その都度個々の課題に対して、保護者と情報共有をし解決していく。
3	・定期的に委員会を開催し、事故防止、虐待防止、BCP等について、検討している。	・各マニュアルを作成し、職員の資質向上のため、研修や訓練を実施している。 ・安全計画を作成し、毎月安全チェックを実施し、改善に努めている。	・事業所で実施している訓練や各マニュアルについて、保護者に広く周知していく。 ・食物アレルギー等については、医師、支援員、栄養士と連携を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・今年度は保護者様向けの研修会を開催することができなかった。	・研修会の日時を秋冬に設定したが、感染症が流行る時期だったため、開催が困難だった。	・開催日時を早めに設定し、なるべく沢山の方に参加していただけるように工夫していきたい。
2	・第三者による外部評価が実施されていない。	・外部による評価を実施していないため、自事業所での評価のみでは、その内容に偏りが予想される。	・第三者による外部評価は実施していないが、事業所の自己評価や法人監査を実施している。それをもとに結果を検討し、業務改善に努めていく。
3			